

地域の話題 遠軽町

交通アクセスに優れた 立地条件を活用したまちづくり



登録を目指している「道の駅」のイメージ



遠軽町総務部 地域拠点施設準備室
室長 齊藤 隆雄氏



図1 新たな道の駅予定地

オホーツク管内のほぼ中央に位置し、平成17年に生田原町、丸瀬布町、白滝村と合併して新しい歴史を刻む遠軽町。現在、工事中の高規格幹線道路「旭川・紋別自動車道」の延伸にあわせ、「道の駅」登録に向けた準備を行っている。今後、期待されるまちづくりについて、遠軽町総務部地域拠点施設準備室の齊藤隆雄室長にお話を伺った。

—「道の駅」登録を目指すことになった経緯を教えてください。

高規格幹線道路の延伸による遠軽ICの整備に伴いまして、観光の拠点になるような場所を作りたいというのが出発点でした(図1)。遠軽町はコスモスが有名ですが(写真1)、それ以外の観光資源も作りたかったのです。ちょうど「えんがるロックバレースキー場」のロッジがかなり老朽化していることから(写真2)、ロッジの改修と合わせて何かできないかと検討を始め「道の駅」とスキー場のロッジ、2つの機能を併せ持つ施設にしようかという案に至り、1階は特産品を含む物販コーナーやフードコート、観光インフォメーション、24時間トイレなどを備えた道の駅機能、2階はスキー場のロッジ機能としてそのままゲレンデに出られるような複合施設を目指すことにしました(図2)。



写真1 えんがる太陽の丘のコスモス。見ごろは9月



写真2 平成29年度シーズンまで親しまれていたロッジ。今シーズンは仮設ロッジで営業

——「道の駅」として登録された場合、期待される効果を教えてください。

遠軽町にはすでに白滝と丸瀬布に道の駅があります。丸瀬布ICが端末インターとして利用されていたとき、道の駅の来館者数は年間60~80万人でしたので、同程度の利用者数は期待しています。冬期間のスキー場利用客は年間20万人ほどでした。今後、道の駅の機能を持つとともに、ゲレンデの夏期利用も検討していますので、通年での来場者増加に期待を寄せています。将来は、ここを観光拠点とした新たなまちづくりができるのではないかと考えています。



図2 吹き抜けを設け、木のぬくもりを感じさせる内装。1階は道の駅、2階はロッジとしての機能を果たす

——「道の駅」登録に向けて検討協議会を立ち上げたそうですが、どのような議論をされてきましたか？

平成27年6月に協議会を立ち上げ、「ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅」をコンセプトに掲げました。このコンセプトを実現するため、道の駅の整備は、「地元の住民に愛される施設にする」、「様々な体験を通じて、利用者に『遠軽・オホーツク』を感じてもらおう」、「玄関口として利用者に『遠軽・オホーツク』を知ってもらおう」という3つの視点で進めることになりました。

——具体的な戦略を教えてください。

地域住民のみなさまに愛される道の駅づくりについては、これまでに実施した町民アンケートでも「観光客だけでなく地元の人でも利用できる施設に」という声がありましたので、地域の方が目的を持って利用してもらえるような企画を考えたいと思っています。例えば、スキー場の中央に大きなエゾヤマザクラの樹が1本あり、毎年5月の連休あたりにきれいな花を咲かせます。しかし、スキー場の営業が終了している時期のため地元の人にさえも知られていませんでした。道の駅ができれば、その桜を活かした展開も考え

られます。また、夏期のゲレンデ活用が実現すればスキー場スタッフの通年雇用も実現できます。この道の駅は、遠軽町にとって大きなチャレンジですが、ぜひ実現させたいと思っています。

——夏はどのようにゲレンデを活用する計画ですか？

ほかの道の駅とは大きく異なり、スキー場が併設される素晴らしいロケーションです。そこで、道の駅という枠にとられず、一つの森の公園、テーマパークのような役割を果たせたらと思っています。広大なゲレンデや森林を活かしてドッグランを設ける、リフトを運行した中で様々なアクティビティなどを楽しめるようにする、花を植栽する、など様々なアイデアが出されています(図3)。あくまでもスキー場ですから、冬期間のゲレンデに影響のない程度で検討中です。



図3 緑のゲレンデで様々なアクティビティなども検討中

——完成に向けてのスケジュールを教えてください。

工事は今年度と来年度の2カ年で実施します。古いロッジはすでに解体工事が完了しており、今シーズンは仮設ロッジで営業します。来シーズンはいよいよ新しいロッジでの営業がスタートします。道の駅のオープンについては、具体的なスケジュールは未定です。

今年度は施設の名称を全国的に募集し、約600通の応募作品を参考に最終案を決定したところであり、今後、名称発表のセレモニーなどを開催したいと思っています。

——完成を楽しみにしている『北の交差点』読者のみなさまにメッセージをお願いします。

飲食コーナーでは地元のジャガイモなどを使ったおいしいお料理や、物販コーナーでは道の駅オリジナルの物産品や加工品の提供なども企画していますので、ぜひお立ち寄りください。

高規格幹線道路の整備により、遠軽のまちに大きな変化がもたらされます。この道の駅をひとつの核として、新しい遠軽の魅力を発信できればと思います。